

工業技術基礎

| | | | | | |
|-------|----------------|-----|---|-------|--------|
| 教科 | 工業 | 単位数 | 2 | 学科・学年 | 機械科1年生 |
| 使用教科書 | 「工業技術基礎」(実教出版) | | | 副教材等 | なし |

◇ 学習の到達目標 ◇

工業の各分野に関する基礎的な技術・技能を実際の作業を通して総合的に学習し、技術革新に対応できる能力と態度を身に付けます。朝学習R-timeを通して理解度を確認し、基礎基本の定着を図ります。

◇ 科目の特色 ◇

年間を通して四つの実習課題をローテーションします。実習班は1班が約10名で構成され、基礎的な技術・技能を実際の作業を通して総合的に学習し、協調・責任・勤労など技術者として望ましい態度や習慣を身に付けます。

◇ 学習の計画 ◇

| 月 | 単元名 | 主な学習活動 |
|---------------|------------|--|
| 4 6 | 1. 計測 | ・ノギス・マイクロメータの測定方法・測定結果の評価について学習する。 |
| 7 9 | 2. 手仕上 | ・メモホルダーの製作を通して、穴あけ、ねじ切り、ヤスリがけの基本作業方法を学習する。 |
| 10 12 | 3. 電気工作 | ・サーキットテスターの製作を通して、電子部品、回路の基礎知識、技術について学習する。 |
| 1 3 | 4. シーケンス制御 | ・シーケンス制御の回路設計、製作を通じて、シーケンス制御の基礎知識を学習する。 |

◇ 評価の観点・方法 ◇

評価は、次の四つの観点から行います。

| | |
|----------|--|
| 関心・意欲・態度 | 各実習に関心を持ち、その基礎的な知識と技術の習得に向けて意欲的に取り組む態度を身に付けているか。 |
| 思考・判断・表現 | 各実習に関する事柄に思考を深め、基礎的な知識を活用して、適切に判断する能力を身に付けているか。そして具体的に表現することができるか。 |
| 技能 | 各実習に関する知識を身に付け、技能を習得しているか。 |
| 知識・理解 | 各実習に関する事柄を知り、知識を深め、性質等を知ることができるか。 |

このため、評価は具体的には次のものを対象とします。

①学習態度 ②製作作品 ③実習レポート

また、1年間の評価は前期・後期の年間を通して、総合的に判断して決定します。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

安全作業に十分努めて、正しい服装や整理整頓を心がけて実験実習を行いましょう。また、実験実習後のレポートの提出期限を守りましよう。